

2016 Longines World's Best Racehorse Rankings Summary

アロゲート【134】がブリーダーズカップクラシック(G1)での鮮烈なパフォーマンスにより、2016 年ロンジンワールドベストレースホースランキングトップの座についた。同馬はこの競走では、ランキング第2位のカリフォルニアクローム【133】に半馬身差で競り勝った。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings

Leading Horses

Rank	Horse	Rating	Trained
1	ARROGATE (USA)	134	USA
2	CALIFORNIA CHROME (USA)	133	USA
3	WINX (AUS)	132	AUS
4	ALMANZOR (FR)	129	FR
5	A SHIN HIKARI (JPN)	127	JPN
5	MAURICE (JPN)	127	JPN
7	FROSTED (USA)	126	USA
8	FOUND (IRE)	124	IRE
8	HARTNELL (GB)	124	AUS
8	POSTPONED (IRE)	124	GB
8	WERTHER (NZ)	124	HK

昨年4月と遅めのデビューとなったアロゲートであるが、2016年シーズンは6戦5勝であった。同馬は、ブリーダーズカップクラシックを制覇する前には、トラヴァーズステークスを制していた。重賞初挑戦となった

この競走では 13 馬身半の大差をつけるともに、37 年ぶりにコースレコードを更新する歴史的な勝利をあげていた。

これにより米調教馬が 2 年連続でランキングトップとなった。2015 年には、アロゲートと同じボブ・バファート調教師の管理馬アメリカンファラオが、同様に 134 ポンドでランキングトップとなっている。過去 20 年において、米調教馬でこれより高い評価を得たのは 1996 年に 135 ポンドとなったシガーのみである。

カリフォルニアクロームは、ブリーダーズカップクラシックが 2016 年唯一の敗戦となったものの、他の 7 戦はいずれも制している。同馬の重賞勝ちとはバイワールドカップ(G1)、パシフィッククラシックステークス(G1)、オーサムアゲインステークス(G1)、サンディエゴハンデ(G2)、サンパスカルステークス(G2)である。

ランキング第 3 位のウインクス **【132】** は、コックスプレート(G1)では 8 馬身差をつけ連覇し、この評価を得た。芝及び牝馬部門のトップとなった同馬は、2016 年は 8 戦全勝、また 2015 年 5 月以降 13 連勝中である。

ウインクスは、2016 年には他にもコーフィールドステークス(G1)、コルゲートオブティックホワイステークス(G1)、ドンカスターマイル(G1)、ジョージライダーステークス(G1)、チップングノートンステークス(G1)、ウォリックスステークス(G2)、それにアポロステークス(G2)を制している。

ランキング第 4 位のアルマンゾル **【129】** は、5 連勝でシーズンを終えた。同馬は 6 月に仏ダービー(G1)で初 G1 制覇を成し遂げ、その後、愛チャンピオンステークス(G1)と英チャンピオンステークス(G1)を制した。

第 5 位にはエイシンヒカリ **【127】** とモーリス **【127】** の海外で結果を出した日本調教馬 2 頭が並んでいる。エイシンヒカリはイスパーン賞(G1)を大差で制し、またモーリスはチャンピオンズマイル(G1)と香港カップ(G1)を制した。この年を香港で始動し香港で終えたモーリスは、日本で天皇賞(秋)(G1)も制している。

ランキング第 7 位のプロステッド **【126】** は、メトロポリタンハンデ(G1)を 14 馬身差の圧倒的なパフォーマンスで制している。同馬はこの他にも

ホイトニスステークス(G1)も制している。

トップ 10 にはこの他 4 頭が第 8 位で並んでいる。

ヨーロッパではファウンド【124】が、愛・英チャンピオンステークスとともにアルマンゾルの 2 着だったが、両レースの間に行われた凱旋門賞(G1)を制しこの評価を得た。

ポストポンド【124】は、凱旋門賞ではファウンドに敗れたものの、2016 年に出走したその他 4 つの競走（インターナショナルステークス(G1)、コロネーションカップ(G1)、ドバイシーマクラシック(G1)、ドバイシティオブゴールド(G2)）は全て制している。

オーストラリアでは、ハートネル【124】がターンブルステークス(G1)を含む重賞 3 勝を上げた。同馬は、ターンブルステークスの後にコックスプレートでウィンクスの 2 着となっている。また香港ではワーザー【124】がクイーンエリザベス II 世カップ(G1)を制した。

全体で 17 か国から 319 頭が 115 ポンド以上の評価を受け、ランクインした。全馬を掲載した表とランキングに関する情報については、IFHA ホームページをご覧ください。